

科目名	English IV			担当教員	北岡 一弘		
学年	4	学期	通年	科目番号	09103	単位数	3
分野	一般	授業形式	講義・演習	履修条件	必履修		
学習目標	①「教科書とDVDなどの視聴覚教材を用いて、聴力と読解力を養う。 ②「英語多読用図書を自力で正確に読める。大量に英語を経験することにより、英文の構造やコロケーション、会話表現等に慣れ親しむ。						
進め方	①リスニングと英文読解②多読・熟読を組み合わせた授業を行う。①では、テキストや補助教材などを用いて様々な国の文化に触れながら、聴力と読解力を養う。②では、各々のレベルに応じた英語多読用図書を、各自辞書を使って多読・熟読し、要約・感想等、英語で読書記録をつける。また、TOEICの補助教材を用いて、語彙力を高めるとともに、場合に応じてTOEIC対策等の演習も行なう。						
学習内容	学習項目(時間数)			合格判定水準			
	1. テキストChapter 1～2 (14) 2. レベル0～3(～1000 Headwords)の多読教材を用い、目安として5000語～2万語を読む。(8)			1. 1. 基本的な文法事項を理解できる。 2. 2. 本の内容、ストーリー展開を正確につかんで読むことができる。 3. 異文化について理解する。			
	[前期中間試験](2)						
	3. テキスト Chapter 3～4 (14) 4. レベル0～3(～1000 Headwords)の多読教材を用い、目安として累計1万～3万語を読む。(7)			3. 基本的な文法事項を理解でき、それを使った文が書ける。 4. 本の内容、ストーリー展開を正確につかんで読み、読書を楽しむことができる。			
	前期末試験						
	5. テキスト Chapter 5～6 TOEIC対策等プリント補助教材(14) 6. レベル0～3(～1000 Headwords)の多読教材を用い、目安として累計1万5000～5万語を読む。(7)			5. 基本的な文法事項を理解でき、それを使った文が書ける。 6. 本の内容、ストーリー展開を正確につかんで読むことができ、英文で要約・感想等表現できる。年度始めよりもレベルの高い本が読めるようになっている。あるいは、同レベルの本がより速く読めるようになっている。			
	[後期中間試験](2)						
	7. テキスト Chapter 7～8 (14) 8. レベル0～3(～1000 Headwords)の多読教材を用い、目安として累計2万～7万語を読む。(8)			7. 基本的な文法事項を理解でき、それを使った文が書ける。 8. 本の内容、ストーリー展開を正確につかんで読むことができ、英文で要約・感想等表現できる。年度始めよりもレベルの高い本が読めるようになっている。あるいは、同レベルの本がより速く読めるようになっている。			
後期末試験							
試験返却(1)							
評価方法	評価の内訳は、定期試験 70%、授業時の取り組み姿勢(読書記録、小テスト、授業態度、TOEIC 模擬試験を含む)を 30%とする。授業に対する取り組み方が悪い場合は減点する。学習項目ごとの全体評価への重みは、定期試験までのそれぞれの期を 25%ずつとする。						
学習・教育目標との関係	(D) 論理的なコミュニケーション能力						
関連科目	1～3年までの英語科目 → English IV (4年) → English V (5年)						
教材	World Adventures (金星堂)、The Word Master Approach for the TOEIC Test (成美堂)、多読教材、プリント教材。						
備考	毎時間かならず辞書を持参すること。						